

十和田市事務事業評価シート

【事務事業の概要】

| | | | | | |
|---------|---|--------|----|-----------|------|
| 整理番号 | ②-138 | 実施計画番号 | 23 | 事業開始年度 | 25 |
| 事務事業名 | 観光施設無線LAN整備事業 | | | 事業終了年度 | 28 |
| 担当課名 | 観光推進課 | | | 事務の種類(選択) | 自治事務 |
| 根拠法令等 | 関連事務事業 | | | | |
| 背景や経緯等 | 公衆無線LAN装置を設置することにより、情報を提供するとともに、観光客からの情報発信を可能とし、広報宣伝効果の向上に結びつける。 | | | | |
| 事務事業の目的 | 市内各観光施設においてインターネット環境を整備し、観光客の利便性の向上を図る。 | | | | |
| 実施状況 | 平成26年度に3箇所(官庁街通り、現代美術館、十和田湖観光交流センター)、平成27年度は整備済みが3箇所(中央公園緑地、馬事公苑、奥入瀬ろまんパーク)、整備中が2箇所(道の駅とわだ、奥入瀬溪流館)の計8箇所において、公衆無線LAN(Wi-Fiスポット)を整備したことにより、当市を訪れた観光客の利便性向上に資することができた。 | | | | |

【人件費の推移】

| | | 26年度実績 | 27年度実績(見込) | 28年度予定 |
|------------|---------|--------|------------|--------|
| 正職員 | 従事者数(人) | 1 | 1 | 1 |
| | 活動日数(日) | 48 | 48 | 36 |
| | 人件費(千円) | 1,728 | 1,728 | 1,296 |
| 正職員以外(選択↓) | 従事者数(人) | 0 | 0 | 0 |
| | 活動日数(日) | | | |
| | 人件費(千円) | | | |

【事業費の推移】

| | | 26年度実績 | 27年度実績(見込) | 28年度予定 |
|-----------|--|--------|------------|--------|
| 事業費合計(千円) | | 4,074 | 4,058 | 3,294 |

【指標】

| | | | | | | |
|------|---|--------|-------------------------|-----------|------------|-----------|
| 活動指標 | 活動指標名① | | 公衆無線LAN(Wi-Fiスポット)整備箇所数 | | | |
| | 計算式等 | | 単位 | 26年度実績 | 27年度実績(見込) | 28年度予定 |
| | | | 箇所 | 3 | 5 | 1 |
| | 活動指標名② | | | | | |
| | 計算式等 | | 単位 | 26年度実績 | 27年度実績(見込) | 28年度予定 |
| 成果指標 | 成果指標名① | | 観光入込客数 | | | |
| | 計算式等 | | 単位 | 26年度実績 | 27年度実績(見込) | 28年度予定 |
| | 現代美術館、ぶらっと、官庁街通り、同イベント、奥入瀬ろまんパーク、馬事公苑、道の駅とわだ、奥入瀬溪流館 | 人(延べ) | 目標値 | 1,673,342 | 1,742,630 | 1,742,630 |
| | | | 実績値 | 1,673,342 | 1,750,744 | |
| | | | 達成度(%) | 100% | 100% | |
| | 成果指標名② | | | | | |
| | 計算式等 | | 単位 | 26年度実績 | 27年度実績(見込) | 28年度予定 |
| | | 目標値 | | | | |
| | | 実績値 | | | | |
| | | 達成度(%) | | | | |

十和田市事務事業評価シート

【担当課による検証】

| ポイント | | 検証(選択) | 評価 | 点数 | 合計 | 検証の理由 | |
|--------------|---|--|----|----|----------------|--|---------------|
| 妥当性 | ① 市民ニーズ等から見る妥当性 市民ニーズや時代潮流の変化により、事務事業の役割が薄れていないか | A 薄れていない B 幾分薄れている C 薄れている | A | 2 | 4 | 存在意義の見直しの余地 0 / 4 民間(施設)の取り組みも進んでいるが、民間による投資インセンティブの低い公共的な観光拠点については、自治体による整備が必要。 | |
| | ② 実施主体である妥当性 行政が実施することが妥当か(民間と競合していないか) | A 妥当である B あまり妥当ではない C 妥当ではない | A | 2 | | | |
| 有効性 | ③ 活動指標から見る有効性 活動指標の実績は、順調に推移しているか | A 順調である B あまり順調ではない C 順調ではない | A | 2 | 6 | 成果向上の余地 0 / 6 順調に推移している。 | |
| | ④ 成果指標から見る有効性 成果指標の目標達成状況は、順調に推移しているか | A 順調である B あまり順調ではない C 順調ではない | A | 2 | | | |
| | ⑤ 事務事業の見直しの余地 成果を向上・安定させるため、事務事業の見直しの余地はあるか | A 見直しの余地はない B 検討の余地あり C 見直すべき | A | 2 | | | |
| 効率性 | ⑥ 事業費の削減の余地 事務手順の見直しや正職員以外での対応により、成果を下げずにコスト削減は可能か | A コストに無駄がない B 検討の余地あり C 可能である ★ 実施済 | A | 2 | 5 | コスト削減の余地 1 / 6 民間委託等によるコストと成果の関係をこれまで検討したことがないため。 | |
| | ⑦ 他の事務事業との統合・連携 類似又は関連事業との統合・連携により、成果を下げずにコスト削減は可能か | A コストに無駄がない B 検討の余地あり C 可能である ★ 実施済 | A | 2 | | | |
| | ⑧ 民間委託等 民間委託・指定管理者・PFI等により、成果を下げずにコスト削減は可能か | A コストに無駄がない B 検討の余地あり C 可能である ★ 実施済 | B | 1 | | | |
| 公平性 | ⑨ 受益の偏り 現在の受益は公平か。特定の個人・団体に受益が偏っていないか | A 偏っていない B 多少偏っている C 偏っている | A | 2 | 4 | 受益者負担適正化の余地 0 / 4 特定の団体、個人に偏りがなく、公平である。 | |
| | ⑩ 受益者負担の見直しの余地 現在の受益者負担は適切か。見直しの余地はあるか | A 見直しの余地はない B 検討の余地あり C 見直すべき | A | 2 | | | |
| 現在の適性 | | | | | 19 / 20 | 改善の余地 | 1 / 20 |

【点数化による検証】

当該事業の現在の適性は20点中 **19** 点です。

当該事業の改善の余地は20点中 **1** 点です。

【担当課長による評価】

当該事業の今後の方向性(選択) ※事業終了年度がH27の場合は回答不要 ⇒

現状のまま継続

方向性の理由 ※事業終了年度がH27の場合は回答不要

主に外国人観光客の利便性向上のため整備を行うものであり、インバウンド対策の一助となりうるものであることから、引き続き継続して整備を行う。

今後の具体的な取組方策と狙う効果 ※事業終了年度がH27の場合は、『事業を実施したことにより今後見込まれる効果』を記載してください。

十和田湖畔休屋地区の活性化のため、パワースポットとして注目を集めている十和田神社周辺に整備を行い、外国人観光客等の利便性向上を図る。